

要望書

近鉄四日市駅周辺の交通結節点整備について



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません

令和3年11月

四日市市

平素は、四日市市の政策にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

四日市市は、東西交通の要衝に位置し、古くから東海道の宿場町、港町として栄えてきました。近年では、臨海部の産業集積に加え、内陸部に世界最先端の半導体工場が立地するなど、我が国固有数の産業都市となっています。

また、新名神高速道路をはじめとした広域幹線道路網の整備が進むとともに、2027年にはリニア中央新幹線の東京から名古屋間が開通する見通しとなっており、四日市市には、中部圏域の一翼を担う都市として、さらなる飛躍が期待されています。

このリニア時代の幕開けに向け、本市では近鉄四日市駅からJR四日市駅にかけての中心市街地において、駅前広場の再編成や両駅を結ぶ幅員70mを有する中央通りを歩行者中心の空間とするまちなかの再編に取り組んでいます。

特に、乗客数が1日6万人を超える県内屈指の交通拠点である近鉄四日市駅においては、バス乗り場が3箇所に分散し歩行者スペースが不足していることが課題となっており、この解決に向けてバス乗り場を集約する計画を進めようとしていました。

このような中、国土交通省におかれましては、「バスタプロジェクト」の全国展開を進める中で、令和2年度に近鉄四日市駅周辺をその候補地として交通結節機能の強化に向けた調査を進めていただき、令和3年度に「近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業」として新規事業化していただきましたことに、大変感謝しております。

地域も事業化の決定を受け、大きく機運が盛り上がっており、「バスタ四日市」の誕生を心待ちにしております。

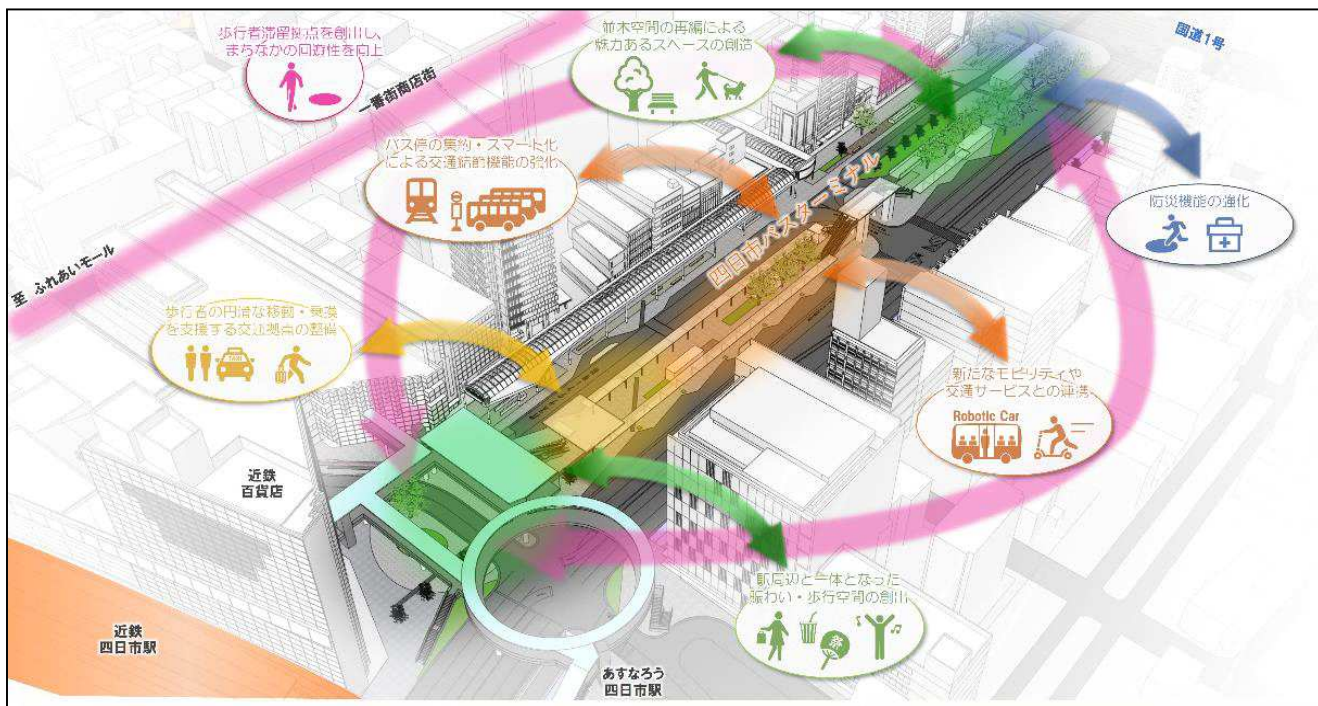
四日市市では、国で進めていただくバスターミナル事業と並行して関連する中央通り再編事業をしっかりと進め、交通結節機能に加え都市機能全般の強化を図ることで、中部圏の西の中核都市として、地域経済のさらなる発展に寄与できるものと確信しております。

このようなことから次の事項を強く要望します。

- 早期に「バスタ四日市」が実現できるよう近鉄四日市駅交通ターミナル整備事業の推進をお願いします。
- 四日市市が並行して進める中央通り再編事業と一体となった魅力あるまちなかの実現に向けて、相互に連携した整備に配慮いただきますようお願いいたします。

令和 3年 11月

四日市市長 森 智広



※イメージであり、整備内容を決定するものではありません